

さくらんぼの管理について

いよいよ6月に入り、さくらんぼの収穫シーズンが始まります。忙しい日々が続きますが、農作業事故には十分注意し、作業を行ってください。

今年のさくらんぼの生育は昨年、平年より5〜6日早く進んでいます。管理作業を徹底し、高品質生産に努めましょう。

◎着色管理のポイント

真っ赤に色付いた美味しいさくらんぼを作るためには、果実と葉にまんべんなく光を当てることが大切です。枝つりや誘引、葉摘みなどで光を届けましょう。

下がり枝は大枝の側枝が上向きになるように誘引しましょう。重なり枝は空いているスペースへ誘引してください。過度な葉摘みを防ぎ、着色管理の効率が上がります。

葉摘み作業の「早すぎ」、「摘み過ぎ」は着色を阻害してしまいます。また、葉から十分に養分が来ないことには、大きく、甘くなりませんし、過度な葉摘みは翌年の花芽が充実不足になる可能性があります。

もありません。適切な着色管理作業を実施し、美味しいさくらんぼを生産しましょう。

葉摘み作業で取る葉

- ・まめ葉（小さい葉）
- ・枝下の果実にかぶった葉
- ・枝上の果実にかぶった葉
- ・果実付近のまめ葉を摘む

だけでも、日当たりは大分よくなります。できるだけ大きい葉を残して、まめ葉や果実に覆いかぶさった小さい葉を摘み取りましょう。

◎ウルミ果防止対策

ウルミ果の防止には次の条件の改善が重要です。

- ・着色期の高温
- ・着色期の日照不足
- ・着果量の多い圃地
- ・過度の葉摘み
- ・土壌水分の過多

葉が働ける環境（明るい圃地、摘果の徹底、適切な葉摘みと灌水）を作り、適期収穫（後半は熟度重視）を行いましょう。

◎農作業事故防止

さくらんぼは高所での作業

が多くなります。焦らず、無理のない作業をしましょう。危険な箇所、危険な作業を事前に確認することが安全の第一歩です。

- ・雨除け施設のクランプやマイカ線の位置、状態
- ・脚立や高所作業車の不具合
- ・地面や施設が濡れて滑りやすくなっていないかなどを確認しましょう。

安全作業の注意点

- ①動きやすい服装・滑りにくい靴
- ②脚立には必ずチェーン。最上段には上らない
- ③高所作業車は周囲や頭上をよく確認
- ④できるだけ複数人での作業
- ⑤休憩・休息・水分補給

